

【中学部の教育】

1 教育目標

それぞれの個性を伸ばし、将来の豊かな社会生活（ウェルビーイング）に向けて、「やり方がわかる」「自分で考え選ぶ」「やってみる」力を備えた生徒を育てる。

(1) 相手の気持ちを理解し、共に活動する楽しさを実感することで、協働したり対話したりする力を育てる。（人間関係をつくる力）

(2) 場に応じた言葉遣いや手段を自ら「選び」、自分の意思を伝える力を育てる。（コミュニケーション力）

(3) 学校や社会のルール・マナーを意識し、状況に合わせて「自分で考え」、主体的に行動する力を育てる。（社会環境への適応力）

(4) 生活に必要な知識や習慣を身に付け、集団の中で自分の役割を実際に「やってみる」ことで技能を身に付けて、それらの経験を通して自己有用感（やりがい）を得る力を育てる。（はたらく力）

(5) 実際の場面で、自分に合った方法を「自分で判断し、選択・決定する」力を育てる。（選択・決定する力）

2 教育方針

(1) 全般

生徒個々の障害の状態、特性、年齢、発達段階を踏まえ、「命を大切にすること、人権を守ること」を教育の価値基準の根幹に据え、個に応じた教育内容の検討や指導に努める。また、12年間を見通した学部間の連続性のある教育課程を編成し、「育てたい5つの力（人間関係をつくる力、コミュニケーション能力、社会環境への適応力、はたらく力、選択・決定する力）」の育成を組織的に推進する。

(2) 学習指導

「やり方がわかる！自分で考え選ぶ！やってみる！」を合言葉に、ICT活用による個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進する。自立活動や総合的な学習の時間、道徳教育を充実させ、生徒一人ひとりの資質・能力を多角的に育成する。

(3) 生徒指導・進路指導

生徒の特性や思春期特有の心身の変化を捉え、自己肯定感を高める支援的指導を推進する。いじめ防止や不登校支援では家庭や関係機関と連携したチーム対応を徹底する。作業学習等を通じ、将来の働く意欲や社会自立の基礎となるキャリア教育の充実を図る。

(4) 安全・安心

組織的な食育・健康管理により、生涯の健康維持の基礎を養う。防災面では、生徒の特性に合わせた実践的な避難訓練を通じ「自ら身を守る力」を育成する。SNS等の情報モラル教育も推進し、多角的に生徒の安全を保障する。

(5) 家庭と地域との連携

地域資源を積極的に活躍した体験学習を充実させ、学校運営協議会や発信活動を通じて家庭・地域との絆を深める。教職員が高い倫理観と責任感を持ち、生徒の自立と社会参加を支える、信頼される学部を目指す。